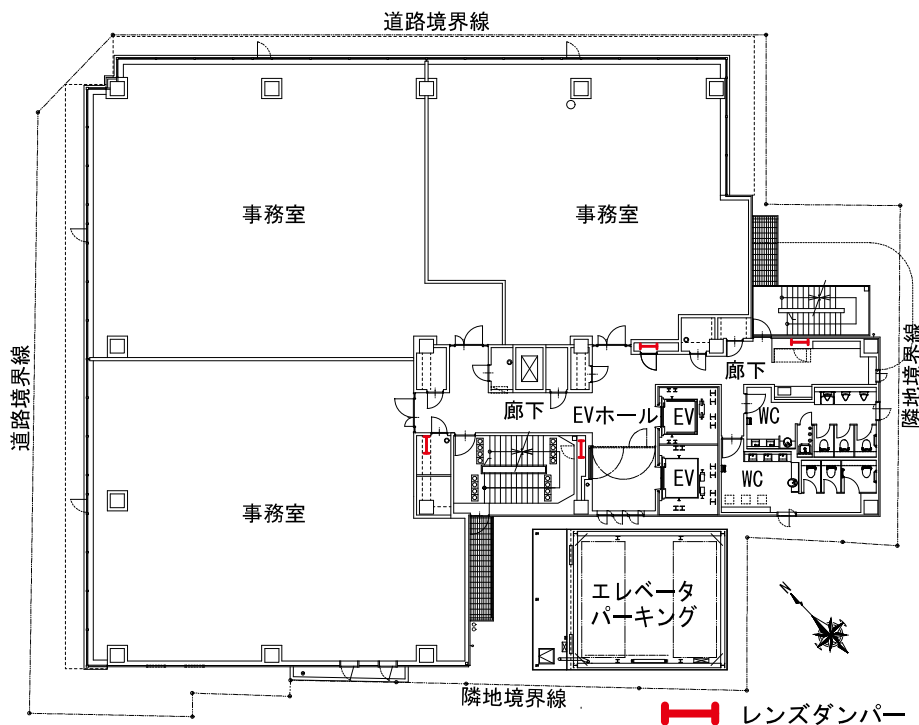


## レンズダンパー®案件紹介（南日本博多ビル新築工事）

新築オフィスビルにレンズダンパーが採用されました。  
ポイントは、耐震性の確保、BCP対策です。災害時の建物の機能ならびに人命の保全に配慮しています。



竣工写真



非常に薄いダンパー

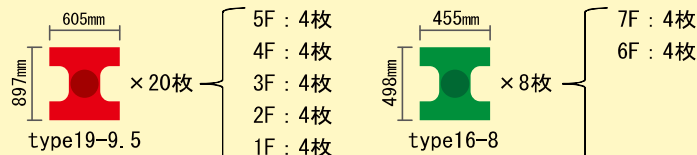


ダンパー点検用窓

所在地	福岡県福岡市博多区
工期	2017年10月～2019年1月
構造・階数	S造・地上8階
延床面積	7,597.17㎡
建物用途	事務所ビル
発注者	株式会社南日本保証センター
設計	エヌ・ティ・ティ都市開発ビルサービス株式会社
施工	飛鳥建設株式会社 九州支店

### レンズダンパータイプと設置数

レンズダンパー枚数：28枚  
(間柱タイプ)



### レンズダンパー採用について

立地はJR博多駅から約1キロのオフィス街中心地であることから景観と地域環境に配慮した。建物の耐震性を確保するために、地震地域係数を大地震時、福岡は通常0.8のところ1.0で設計。窓や扉などの開口部に支障なく設置可能な制震装置「レンズダンパー」を採用した。採光や通風、人の出入りを確保しながら、建物の揺れを低減できる。1階から7階まで各フロア4基の合計28基を設置した。当ビルはBCPを導入しており、レンズダンパーはBCPにも対応している。

建設通信新聞より引用抜粋